

「令和2（2020）年度 栃木県国際経済交流調査」概要

令和3（2021）年2月16日

産業労働観光部 国際課

1 調査目的

県内企業における輸出入や海外進出の状況等について実態を把握し、経済のグローバル化に即した支援事業を展開するための基礎資料を得るための調査である。

（注）この調査は任意調査であるため、集計数値が本県の実体値ではないことに留意

2 調査期間

令和2（2020）年8月25日から9月30日

3 調査内容

（1）輸出入動向

令和元（2019）年4月1日から令和2（2020）年3月31日までの輸出入額等

（2）海外進出等状況

令和2（2020）年7月1日現在の海外進出等状況

（3）グローバル人材の採用、状況等

令和2（2020）年度調査時点でのグローバル人材（海外留学の経験のある日本人、県内の大学等に在籍する外国人留学生、青年海外協力隊経験者等）の採用、状況等

4 調査対象企業

「輸出入動向」及び「グローバル人材の採用、状況等」は、県内に立地する事業所1,000社を対象とした。そのうち、県内に本社のある企業を対象に「海外進出等状況」を調査した。

5 調査方法

インターネットおよび郵送によるアンケート調査

6 調査回答企業

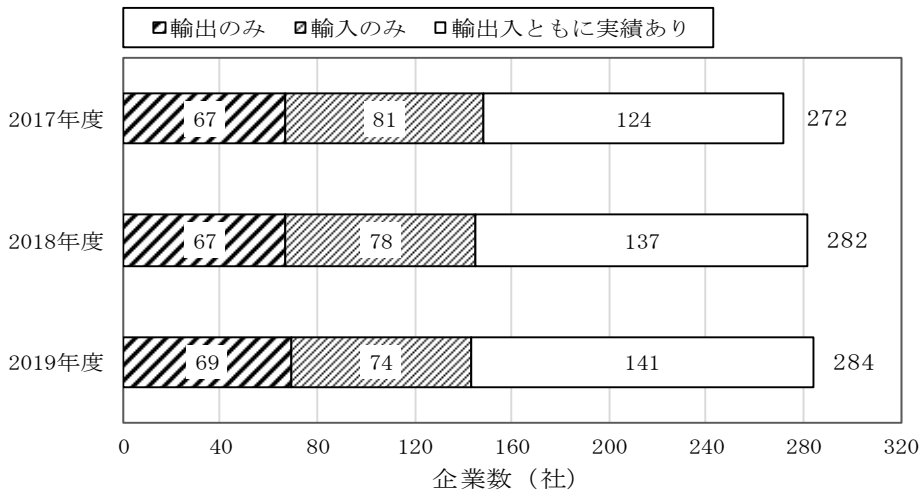
531社（回答率53.1%）（対前年度 ▲4社）

7 調査結果概要

（1）輸出入動向

ア 輸出入実績企業数

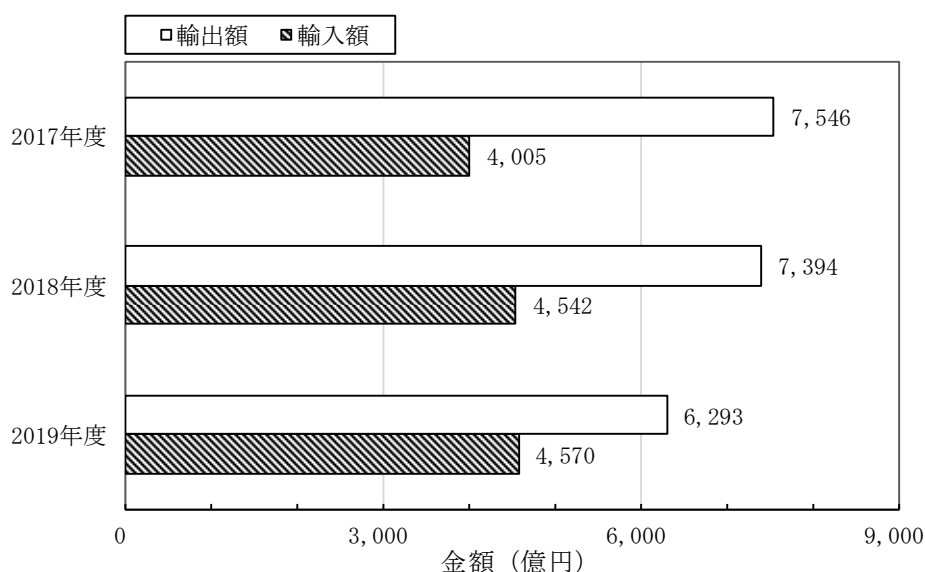
輸出または輸入実績のある企業数 284社（対前年度 +2社）



イ 輸出入額

○輸出額 6,293 億円 (対前年度 ▲1,101 億円)

○輸入額 4,570 億円 (対前年度 +27 億円)



ウ 業種別輸出入動向

○輸出額 (上位3位、その他製造業は除く)

順位	業種名	金額 (億円)	構成比 (%)	前年度比 (%)
1	輸送用機械器具製造業	2,438	38.8	82.4
2	電気機械器具製造業	1,356	21.5	105.7
3	非鉄金属製造業	362	5.8	85.2

○輸入額 (上位3位)

順位	業種名	金額 (億円)	構成比 (%)	前年度比 (%)
1	化学工業製造業	1,046	22.9	95.2
2	電気機械器具製造業	995	21.8	114.5
3	輸送用機械器具製造業	880	19.3	110.2

エ 地域別の輸出入額

○輸出額 (上位3位)

順位	地域名	金額 (億円)	構成比 (%)	前年度比 (%)
1	北米	2,683	42.6	88.8
2	アジア	2,159	34.3	77.4
3	ヨーロッパ	888	14.1	96.6

○輸入額 (上位3位)

順位	地域名	金額 (億円)	構成比 (%)	前年度比 (%)
1	アジア	1,803	39.4	98.4
2	北米	1,117	24.4	101.2
3	ヨーロッパ	1,076	23.5	96.1

オ 輸出入における問題点（上位 5 位） ※複数回答可。回答企業数は 186 社

順位	輸出における問題点		輸入における問題点	
		企業数(社)		企業数(社)
1	物流コストが高い	81	為替相場の変動	84
2	相手国の法規制への対応	77	物流コストが高い	71
3	為替相場の変動	63	相手国の法規制への対応	35
4	代金が回収できなかった	41	言語の違いによる意思疎通不足	28
5	言語の違いによる意思疎通不足	39	貿易実務の知識不足	20

(2) 海外進出等状況

ア 地域別海外進出状況

- ・県内に本社があり海外進出について回答した企業は 375 社。そのうち、進出企業数は 93 社（対前年▲1 社）、海外事業所数は 392 か所（対前年▲9 か所）
- ・主要地域は、アジア 329 か所（対前年▲11 か所）、北米 36 か所（対前年+4 か所）

イ 海外事業所等の進出形態（392 か所）

進出形態	事業所数（か所）	対前年（か所）
店舗	198	▲5
工場	98	▲3
営業所	68	+1
駐在員事務所	23	+1
その他	5	▲3
合計	392	▲9

ウ 海外進出の目的（上位 3 位） ※複数回答可。割合は回答企業数 74 社が母数

順位		企業数（社）	割合（%）	前年の割合（%）
1	海外市場の開拓	42	56.8	59.0
2	取引先企業の進出	31	41.9	36.1
3	安価な労働力確保	25	33.8	32.5

エ 海外進出における問題点（上位 3 位） ※複数回答可。割合は回答企業数 75 社が母数

順位		企業数（社）	割合（%）	前年の割合（%）
1	労働コストの上昇	34	45.3	40.7
1	現地での人材確保	34	45.3	35.8
3	人事労務管理	27	36.0	33.3

オ 業務提携や技術提携の状況 ※回答企業数 356 社

	企業数（社）	割合（%）	前年の割合（%）
現在行っている	83	23.3	17.8
予定関心はある	44	12.4	14.3
予定・関心ともにない	229	64.3	67.9

(3) グローバル人材の採用、状況等

ア グローバル人材の現在の雇用状況、今後の採用予定

グローバル人材を現在雇用している又は今後の採用予定があると回答した企業は、回答のあった497社のうち、189社(38.0%)であった。

	企業数(社)	割合(%)	前年の割合(%)
① 現在雇用し、今後の採用予定あり	94	18.9	18.6
② 現在雇用し、今後の採用予定なし	32	6.4	4.4
③ 現在雇用せず、今後の採用予定あり	63	12.7	13.9
④ 現在雇用せず、今後の採用予定なし	308	62.0	63.1

イ グローバル人材を採用した、または採用したい理由(上位3位)

※主要なもの1つのみ回答。上記アでグローバル人材を現在雇用している、又は今後の採用予定があると回答した企業が対象。割合は回答企業数187社が母数

順位		企業数(社)	割合(%)	前年の割合(%)
1	グローバル人材ならではの強みを活かす	97	51.9	53.7
2	国内の人口減少による労働者不足に備える	53	28.3	35.0
3	多様な価値観に触れさせ日本人社員を育成するため	19	10.2	1.1

ウ 採用に当たっての課題、採用しない理由(上位3位)

○採用に当たっての課題

※上記アでグローバル人材を現在雇用している、又は今後の採用予定があると回答した企業が対象。3つまで回答可。割合は回答企業数176社が母数

順位		企業数(社)	割合(%)	前年の割合(%)
1	日本語能力に不安がある	82	46.6	48.3
2	採用したい能力・資質を持った人材が見つからない	55	31.3	33.9
2	日本のビジネス環境や自社の職場環境になじまない	55	31.3	30.5

○採用しない理由

※上記アでグローバル人材を現在雇用しておらず、かつ今後の採用予定もないと回答した企業が対象。3つまで回答可。割合は回答企業数295社が母数

順位		企業数(社)	割合(%)	前年の割合(%)
1	グローバル人材の能力を活かせる仕事がない	93	31.5	30.8
2	長期雇用が望めない	92	31.2	24.4
3	日本語能力に不安がある	80	27.1	29.8